

町野日 まちのたから 発見



地域に今あるものを つなげたい

▲鶴瀬さん(写真左)

平成28年3月から地域おこし協力隊として活躍いただいた鶴瀬ゆりさん。今年の2月末をもって任期が終了となりました。今回、鶴瀬さんに日野町の印象や活動を通して感じたことについて伺いました。

初めての日野町

地域おこし協力隊の募集を見て、「とりあえず見に行ってみよう」と日野町へ。
大阪から近江鉄道でゆられて日野駅に向かいました。

「なんだこの紙(切符)のシステム!?」「1000円は使えないの!?」と、かなり戸惑いながら。でも、それが結構面白くて。

駅前の観光案内所で案内を受け、日野まちかど感応館、ふるさと館、日野商人館を訪れました。

「なんでこんなに良いところがあるのに、知らなかったのだろう」と衝撃を受けました。

また、歩いていたら見知らぬおばあちゃんから「こんにちは」とあいさつされ、そうつた町の人の雰囲気が良いなと思いました。

たまたま立ち寄ったカフェの店主から「これから移住して来て本格的にカフェをやっていくところ」というお話を聞いて「移住者を受け入れる動きをしている」「外から人が入って来られる風潮がある町」という印象を受け決意しました。

やりたかった口に出す

日野町にゆかりのある川内さんの写真展がやりたいと話していたら、ひよんなな出会いから繋がりが実現しました。それ以来、やりたいと思ったら、できる・できないは別にして人に言うようにしています。自分は無理かなと思うと、誰かが助けてくれたりして、うまくできるようになっていくなと思います。

「新たなこと」を始めるのではなく「今あるもの」を繋げる

町内の方に「日野って確かに良いところやね」と言われると「そーやねん! それそれ!」とうれしくなります。

「地域おこし協力隊」の活動は、地域を変えるというイメージが強いですが、あまり変えようとは思っていません。それよりも、せっかく良いものがいっぱいあるのだから「今あるものを次に繋げていきませんか?」という風に、良いところや良いものがいっぱいあることに気づく人が多くなればと思っています。

今後は

これからも日野町で、ウェブや食にまつわる事業のお手伝いをします。ふるさと館での活動も、伝統料理を継承する会のメンバーとして一緒にやっていきます。

鶴瀬さんは、主に、近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」で、「日野の伝統料理を継承する会」の皆さんと「地産地消・食体験レストラン」の企画運営をされています。またその他にも、町の魅力を発信する活動や、イベントの実行委員としてたくさんの方の企画運営に参加されました。3年間本当にありがとうございました。

主な活動

- 【伝統料理を継承する会】
 - H27.5 ふるさとランチ開始(月1回開催)
 - H28.1 ふるさと御膳の日開始(月1回開催)
 - H29.7 料理教室を開始(現在3か月に一度のペース)
- 【イベント】
 - H29.10 日野駅舎竣工イベント(出店)
 - H29.2 ひな祭り御前・カフェ(H30.31も開催)
 - H29.10 棧敷窓御前・カフェ(H30も開催)
- 【ギャラリーつむぎ】
 - H29.10 日野の作家展
 - H30.2 川内倫子写真展
 - H30.6 岡田健司写真展
 - H30.6 田中敬史陶展
 - H30.10 中田美穂器展
- 【食】
 - H29.1 お料理×地酒×器を楽しむ宴企画
 - H29.1 第一回ふるさと食まつりin日野
 - H30.1 第二回ふるさと食まつりin日野
 - H30.10 近江日野の「みか」プロジェクト企画(にぎり飯・惣菜「みか」店舗立ち上げに参加)
- 【町の魅力PR】
 - H29.8 火振り祭体験ツアー
 - H29.11 日野観光協会インスタグラム運用
 - #ひのはよいとキャンペーン実施
 - H30.5 日野祭・曳山曳き手体験ツアー

ひのらこだより

日野町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。



日野の教育目標



「日野のたから」を未来につなぐ、心豊かでたくましい人づくり
日野の教育の重点 まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成する
～ふるさと日野を愛し、ふるさと日野に誇りをもつ人づくり～

小学校・中学校の教室にプロジェクター機器を設置します



小・中学校のICT環境整備を進めています。今年度中に小学校4年生以上と中学校の普通教室に電子黒板機能付きプロジェクターを設置します。プロジェクター設置により、例えば算数のコンパスの使い方や家庭科の裁縫などを視覚的に提示したり、子どものノートを提示し考えを交流したりして、よりわかる授業を目指します。2月1日には桜谷小学校で授業公開し、町内の教職員等の研修会を開催しました。昨年度整備したタブレットパソコン等ICT機器を授業の中で効果的に活用し、子ども達の学ぶ力向上を図っていきます。

(ICT…パソコンやデジタル機器技術)

ご存知ですか？こんな「家庭学習」の方法

教育委員会では、日野中学校に学習用ソフトを導入しています。これは、パソコン等を利用して学習できる学習支援ソフトです。ドリル教材を利用した家庭学習サービス機能があり、「基礎・基本の定着」「発展的な学習」「実践的な入試対策」等に取り組めるようになっています。

学校での学習とあわせて、ご家庭でも予習・復習できますのでぜひご活用ください。

利用に必要なID、パスワードは学校から通知されています。



スマホ用QRコード

子ども達の学びに向かう力を高めるために ～地域と学校の協働～

放課後子ども教室・中学生ステップアップ教室の開催

小・中学校では、放課後や長期休業期間に町内在住の退職された先生等が講師となり学習支援を行っています。中学校では、「テスト前に質問したい」等、多いときは30人を超える生徒が参加しました。夏休みには、町立図書館で小学3年生以上を対象に学習会を開催しました。60名以上が参加し、夏休みの宿題に取り組みました。

保護者アンケートでは「子どもが進んで学習する習慣が身につく機会となった」と好評でした。



「ふるさと絆支援員」が活躍しています

学校と地域をつなぐコーディネーターとして「ふるさと絆支援員」が各学校には配置されています。支援員は、学校の授業等で地域の人材や特色を生かした活動を支援します。

例えば、裁縫やミシンの学習（家庭科）、昔遊び（生活科）、日野菜学習（総合）等です。

学習活動の充実が図られるとともに、子ども達が地域の皆様と触れ合い、地域について学ぶことで「ふるさと日野」を愛する心情を育てています。



トピック

新しい学習指導要領、スタート（小学校：2020年～ 中学校2021年～）

学習指導要領とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度改訂しています。社会に出てからも学校で学んだことが生かせる三つの力をバランスよく育みます。

三つの力とは…

- ・ **学びに向かう力**…学んだことを人生や社会で生かす
- ・ **知識および技能**…実際の社会や生活で生きて働く
- ・ **思考力、判断力、表現力**…未知の状況にも対応できる

★詳細は学習指導要領ウェブサイト

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm

◆問い合わせ先 教育委員会事務局 学校教育課 ☎0748-52-6564